

「200万人！」

市ではこれまで、食のまちづくりの推進など、観光交流人口の拡大に向けてさまざまな取り組みを行ってきました。こうした取り組みが実を結び、平成二十二年の達成を目標としていた観光交流人口百五十万人を、同十八年に達成することができました。

五月十九日、これを記念した講演会（武庫川女子大学の高田公理教授が講師）に引き続き、「観光交流人口二百万人を目指して」と題して、高田教授ら四人に語っていただきました。

観光は団体から小グループへ移行

高田 まずは観光交流人口百五十万人達成おめでとうございます。これも市長さんのリーダーシップのもとで、市民の皆さんがそういう提案を受け止め、どうしたら観光客を増やせるかということを考えてそれぞれに努力された結果だと思います。

上野 平成十八年の観光交流人口が百五十万人を超

えました。実感がないということをよく聞きます。「百五十万人だとバスに換算して一日〇〇台だから来ていない」というふうに論議されますが、そうではありません。

観光交流という中で、「観光」という概念がずいぶん変わってきたのだと思います。少し前までは「温泉に入って宴会をする」「国立公園を散策する」「国立公園でしたが、現在は「コンベンション」「スポーツイベント」「趣味の会」あるいは「祭」「同窓会」など

いろんなジャンルの交流なんだと思います。食文化館は、見学だけで何万人にも来ていただいていますしね。

高田 観光とは、「その土地に住んでいない人が外からやってきて、その町の良いところに気づいてくれて、その分のお金を落とす」と思っています。

その中で、現代人が観光に行く目的は、例えば「そこで新しい生き方を発見したい」「今までなかったような暮らしの要素みたいな

ものを生活の中に取り入れたい」ということだと思っ

しかし、小浜で受けた光を自分の暮らしの中に生かしていくためには、団体で来たのでは具合が悪い。そこで小グループ化してきたのではないのでしょうか。

藤原 私どものホテルでは、ここところ日帰り客が増えています。年配の方が中心で、目的は「若狭の食」なんです。我々の器は小さくまだまだですが、昨年はホテル始まって以来、

小浜が世界に誇れるもの。それは「神仏習合」「自然・文化」「食」

最高数のお客さんに来ていただきました。これも、食のまちづくりを進めてくれた市長さんのおかげだと感謝しています。

市長 百五十万人という数字は県の統計数字です。「本当に来ているのか？」と言う人もいますが、お水送りや魚釣りに来られる方などはこれには入っていないんです。この統計数字が多いとか少ないとかは簡単に言えないと思います。

上野 観光交流人口が増えたきっかけは「若狭路博2003」ですね。嶺北の人たちも若狭を見直して、お祭りや小さい風物詩など

を見に来られるようになった。同時に、市長が標ぼうされている食のまちづくり、そして継続して行ってきたイベントがよかったです。思います、これからどうしていくかが課題ですね。

世界に誇れる三つの価値

高田 多くの人に来ていただくために、いくつか考

えなければならぬことがあります。世界と直結するような考

ステイバルを開くと言いだした。村に劇場を建てて夏に世界演劇祭を開いた。世界中の人がそこにやってくるようになったんですよ。

冬はそば祭り、春と秋はめい想道場。めい想はどこでもできますが、山の中でやると心と体が癒やされる。そんな富山県の山奥の村が、パリやニューヨークの演劇関係者の間で知られているんです。利賀村は今、世界の演劇の中心の一つになつていて聞きます。まちづくりで世界とつながってしまふんですね。

また、人口千九百人の岐阜県白川村は、一九九五年に世界遺産に指定されました。その瞬間に訪問客が百

万人を超えました。小浜でも同じことがいえます。わずか六年で観光交流人口が倍になった。市長さんは目標二百万人とおっしゃいますが、わたしは三百万人でも可能だと思えます。三百万人というと飛騨高山と同じ。小浜ももうひとがんばりで、有名な観光都市と同じになります。

***** 小浜に住んでいる皆さんは、小浜のよさ（価値）がわからないかもしれませんが、世界に誇れる三つの価値を持っているとわたしは思います。

一つは神仏習合。神様と仏様をいっしょにお奉りするお寺がきちんと残っている



うえの せいじ 上野 清治 さん

若狭おばま活性化イベント実行委員会会長。小浜商工会議所会頭。小浜今宮在住。



ふじわら きみお 藤原 喜巳男 さん

若狭おばま観光協会会長。小浜今宮在住。



むらかみ としお 村上 利夫

小浜市長。平成12年8月に就任し2期目。東勢在住。



たかだ まさとし 高田 公理 さん

武庫川女子大学生活環境学部情報メディア学科教授。「情報文明社会の旅と人生 地球をフィールドとして」が現在の研究テーマ。滋賀県大津市在住。

目指すは観光交流人口
「200万人！」



スタジオジブリが注目する明通寺

あるだけではダメ。
若い人が反応する仕掛けが必要

るのは日本でも数少ない。世界遺産になる可能性が十分あると思います。

都会で生活している人間は、何となく気持ちがイライラしたり不安を抱えたりしている。小浜にはそういう人々を楽しませる、癒やすことのできる自然や文化がある。これが二つ目。

三つ目は、朝廷に食物を献上した御食国であるということ。小浜には、その歴史と伝統を引き継ぐ食文化、それを支える食材があります。

市長 まったくそのとおりですね。若狭おばまが提供できる観光資源は、高田先生の言われた三つに集約できます。

上野 神仏習合の聖地というキーワード、自然・環境・めい想など癒やしというキーワード、御食国の食。わたしたちが当たり前と思っているこれらのことが、実は貴重なものである。住んでいる者にはその価値

あるだけではダメ。何か仕掛けを考えていく必要があると思います。若い人たちが反応する仕掛けを…。

上野 確かに、小浜に住んでいるとその価値がわからないですね。門をくぐると左右に末寺があり、正面に階段がある。階段を上ると線路があり、山門があり、ざん新な造りの常高寺がある。言われてみると、正にアニメの世界ですね。

若狭姫神社に、恐らく世界唯一と思われる「夢の神様」がいらっしゃいます。神社の中の小社に「夢彦神社」「夢姫神社」があるんです。夢をかなえてくれる神様なのか、夢をゆっくり見ましよう（めい想しましよう、心を休めなさい）という神様なのかはわかりませんが。

これも宮崎駿のアニメの世界ではないでしょうか。女子大生がこのことを知ったら来てくれそうですね。

高田・藤原 それは初め

が見えにくいんですね。
現代人が旅、観光に求めるもの

高田 一人の女子学生が学ぶ女子大に勤めていますが、逆に彼女たちから学ぶことが多いです。

小浜は「海のある奈良」。三年前に女子大生十人を小浜のまちに解き放ち、心に残った風景をビデオカメラで撮ってきてもらい、ゼミで学習しました。

東京ディズニーリゾート、繁華街でのショッピング、コンサートなどが大好きな彼女たちですが、意外に反応はよかったですよ。写真やビデオを見せてもらいながら旅の実感を聞いたら、いろいろおもしろいことを言っていました。

「海辺からぶらぶらと道を歩いていたら、高台にお寺が見えたので行ってみた。両側に懐かしい感じのする家が並んでいた。石の階段を上ってみると途中に線路がある。ちょうど電車

て聞きました。一度行ってみたいですね。

藤原 昔は、この地域で最も入り込み客が多かったのは夏でしたが、近年は十一月から二月の冬場が多いですね。逆に七月、九月が少ないです。小浜の観光のオンシーズンとオフシーズンが変わってきたことを実感しています。

高田 海水浴は日本の海ではなく、海外でも行くのでしょ。冬は小浜にカニやフグを食べに来るのが定着してきたんですね。団塊の世代にとって、長期滞在は一つのキーワードになってきています。これは旅館やホテルではどうしようもありませんが、外食はだいたい四泊以上になるといやになります。

そのため、小浜の「食」のファンになった人が、自炊で長期滞在できるような場所があるといいですね。そんなにたくさんの方が来るとは思いませんが、何十

がやってきて、わたしたちの前を通り過ぎていった。電車が過ぎるととたんに静かになり、目の前に常高寺が見えた。それがとてもシニール（超現実的）な感じでした」と。

現実を超えたような雰囲気。毎日見ていたら何も思わないでしようが、おしゃべりな品物ばかり売っているまちを歩く彼女たちにとっては超現実。

「ちよつとどこかに紛れ込んだようなまち。まるで宮崎駿のアニメ世界に迷い込んだようでした」と。

すると別の子が、「ずいぶん時代の経っているような三重の塔と本堂が杉木立の中にある。本堂の薬師如来、焦げ茶色の仏様に近づく」と「あつ、宮崎駿の世界だ」と思った。その後お坊さんの話を聞いたが、おじいちゃんの話を聞いているようになんだか懐かしかった。かわいかった」と明通寺の感想。大人には考えられないようなことを彼女た

人が来ると必ずインターネットに書きます。その口コミの影響が大きいんですね。

上野 商工会議所の視点で考えると、商店街の中に空き店舗があるが、商売はしなくても空き店舗を団塊世代の方に提供し、自炊や買い物、遊びなどで中期滞在していただいたらどうかなどと考えています。

高田 商店街の空いているところに住んでもらうというのは需要があると思いますよ。このようなことを体験した人は自慢したいのでブログに書きます。それで全国に広がっていくんですね。

究極なものを求めて

上野 小浜は祭りも盛んで、特に「放生祭」が注目されています。放生とは生き物に感謝し供養すること。わたしも祭礼当日には、生きた魚を逃がしてやりま

ちは感じてくれる。そこでスタジオジブリを調べてみると、実はスタッフが明通寺を訪れ、海幸彦、山幸彦の神話を素材にアニメの原点として研究しているんですね。ちゃんとういう形で小浜に注目しているんです。ご存じなのは小浜の人だけ。

また彼女たちは「静かな海の見える宿に泊まって、故郷に帰ったような気分にしてくれるもてなしを受け、心身ともに癒やされた」

「市内のあちこちにきれいなわき水があるのがうれしかった」とも言っていました。まちの中にコンビニの水よりおいしいわき水があるというの、また癒やされる。

しかし、あらためて小浜に行くかと尋ねると、「自費ではちよつと」と言う。でも、「例えば、あのお寺でジャズやロックのコンサートがあつて、入場料が三千円ぐらいなら友達誘って行くわ」と。

す。山車、獅子、大太鼓、神楽、みこしなどさまざまですが、根っこところは神仏習合であります。

旧小浜町は二十四区あり、毎年十二区ずつが交替で出場し、祭り当日は非常に賑わいます。山車をはじめ、屋台は必ずしも大きくはありませんが、自慢できるのは囃子の多彩さ。数曲に及ぶ囃子は、全国的にも珍しいと思いますね。

高田 おわら風の盆や郡上おどりなど、火がついたらものすごい。放生祭の入り込み客はどれくらいですか。宿泊もありますか。

藤原 三万人くらいだと思います。秋の連休時なので宿泊もあります。

上野 地域の観光を少し掘り下げてみると、小ぶりになってきたが究極なものを求めるようになってきたのでは。祭りや風物、例えば「弘前さくらまつり（今年には二百五十五万人が訪れ

